

## 化学応用工学特別講義 2

1 単位 (選択)

### Special Lecture on Chemical Science and Technology 2

非常勤講師

【授業目的】 様々な分野の専門家の講義により、基礎から最先端までの特徴ある内容を学ぶ。

【授業概要】 物質機能化学に関連する分野について学外より専門家を招聘し、最新の発展しつつある領域の講義を受講させる。

【キーワード】 環境化学, 錯体化学, 燃料電池

【履修要件】 特になし。

【履修上の注意】 授業を受ける際には、その講義時間に相当する時間数の予習と復習をした上で授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。

【到達目標】 各分野の専門家による講義を通して、その分野を深く理解する。

【授業計画】

1. (実施例) 双安定状態をもつ金属多核錯体 (筑波大) 大塩寛紀教授
2. (実施例) 元素の組成から見た地球と生物 (名古屋大工) 原口紘き教授
3. (実施例) 溶液の構造と性質 (京都大理) 中原 勝教授
4. (実施例) 電池及び水素吸蔵合金利用技術 (三洋電機) 古川修弘部長

【成績評価基準】 講義への取り組みおよび講義内容に関するレポートや小テストなどを総合して評価を行う。その割合を 3:7 とする

【学習教育目標との関連】 本学科教育目標 (E: ◎) に対応する

【教科書】 講義資料を配布する。

【参考書】 適宜紹介する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215700>

【対象学生】 開講コースと同学科の夜間主コース学生も履修可能

【連絡先】

⇒ 教務委員会委員

【備考】 集中講義で行う。講義の予定は掲示等で通知する。